



連盟間の交流会について

東京都教職員連盟と新潟県教職員連盟は30年近く交流会を開催しています。その様子を報告します。

東京都連盟との交流会について

新潟県教職員バドミントン連盟

会長 福嶋 康夫



東京都との交流会については、以前にもJEFニュースに少し書かせていただきました。ここでは、もう少し詳しく書きます。始まりは、当県連盟の松永昌範先生が東京都から新潟県に採用されてからが始まりで、2023年度で20回ほどの開催になります。開催当初は湯沢町で開催されていました。数年は湯沢町の温泉宿を変えながら行っていました。練習会場は、会員がいる高校の体育館を借りていたと思います。この頃はまだ練習試合が中心でした。新潟県を会場に行ったのは夜の交流会に複数の日本酒を用意し飲み比べを行うのが目的?でもあったかと思えます。

その後は、湯沢地区の練習会場の確保が難しくなったため、東京都の先生が合宿で使用している浦佐のてじま屋さんを宿泊場所とし、浦佐地区の学校を確保していただき現在に至ります。

浦佐地区にしてからは、お酒の種類が豊富で夜の交流会で飲む種類に迷うほどです。

また、開催は主に新潟県で行っていましたが、東京都でも開催してほしいと新潟県より要請をし、2回ほど開催しました。他には、全国大会で知り合った近県の先生方も参加いただいております。

20回ほど開催しておりますが、開催が出来なかった出来事が中越地震で2年?、コロナウイルス感染の影響で3年休み、2023年度は久しぶりに開催しました。ですので約25年前から継続されています。参加者の内訳は、東京都の方々の宿泊が多く、練習会は半々でしょうか。新潟県内の参加者が少なかった時は、開催地域の知り合いに声を掛けて参加をもらったりしていました。

開催数年後から2日目の練習会の前1時間ほどを使って研修を行い、基礎練習やウォームアップメニュー、怪我の予防などを勉強しました。

何回か行われた研修会の内容の一部を紹介します。前夜の楽しい酒宴の疲れもありますが、松永先生が準備された「コンセプトビデオの視聴」と「その動画から練習方法を学ぶ」というテーマで1時間程度の研修会を行いました。松永先生はオリンピックをはじめ世界の大会動画の中からあるコンセプトに沿った動画を短時間に編集し、日々のジュニア指導に活かしています。リーチョンウェイやタイツインのショットやフットワークを動画にて分析し、ジュニア選手の技術の習得にも活かしています。

研修会では、簡易プロジェクターを持ち込みホワイトボードに映し参加者が視聴し、構築した練習方法をその場で参加者がモデルになり練習を行うという研修会を実施していただきました。

2日目の交流会は12時で終了し、温泉で汗を流し最近では八海山の蔵元で蕎麦を食べ、運転しない方々はそこでもお酒を楽しんでいます。もちろんお土産は日本酒になります。

2023年度は、久しぶりの開催でもあり夜の交流会は盛り上がり、部屋に戻ってからも日本酒を楽しむ時間を忘れるほどでした。

今後も長く続けていきたいと思っています。

新潟県教職員バドミントン連盟との交流合宿

東京都教職員バドミントン連盟
事務局 森本 俊彦



平成9年(1997年)より始まった東京都教職員バドミントン連盟と新潟県教職員バドミントン連盟との交流合宿ですが、2004年の新潟中越地震、2020年～2022年は新型コロナのため中止となってしまいましたが、今年度は12月2日(土)～3日(日)に開催し、27回目(中止が4回あるので実際には23回)を迎えることができ大変うれしく思っています。自分が事務局という立場だということもありますが、東京都から参加しているメンバーでは、唯一第1回から皆勤賞で参加しており、交流合宿を毎年とても楽しみにしています。交流合宿が始まった当初は越後湯沢周辺で実施していましたが、近年は南魚沼市浦佐の「旅館てじまや」に宿泊することが多く、食事(特にお米)も美味しく居心地がよくとても気に入っています。とにかく交流合宿では、いつも新潟県の方にお世話になってばかりで、とても感謝しています。

そもそも交流合宿は、かつて東京都に勤務していた松永昌範先生が新潟県に転任する際に、「いつか新潟県と東京都で何かやりたいね」と話していたのが始まりだと聞いています。昼はバドミントンで交流し、夜は温泉と懇親会で新潟の銘酒を堪能し、翌日には研修会と交流試合、終了後には美味しいそば屋「長森」に行くというのが恒例となっており、この交流合宿に参加しないと1年を終われないと感じるほどです。また、2日目の研修会では指導法、技術の向上、審判など、色々な題材で実施していただき、とても勉強になり充実した時間を過ごすことができます。数多くの思い出がありますが、新潟県の方がご用意してくださった銘酒をついつい飲みすぎて何度となく潰れてしまったり、寒い体育館での研修会でガタガタ震えながらの審判講習、模擬試験を受けたり、ジュニア育成の工夫やパソコン、タブレットを利用したコンセプトビデオによる指導法などがとても印象に残っています。そして何よりも一番嬉しくうれしく思うのは、全日本教職員バドミントン選手権大会のときに、新潟県の方々が挨拶や試合の応援をしてくださったりと、新潟県との関係を深めることができたことでしょうか。

また、2012年には交流合宿15周年記念ということで、東京都で開催しました(2016年にも東京都で開催)。30周年記念の際には、また東京都で開催できればと考えています。そして、40周年、50周年とこれからも次の世代がバトンを引き継いで、この交流合宿がずっと続くことを期待し、そして自分も都合がつく限り参加し続けたいと思っています。

